

科目名 Subject	応用ネイル技術 Applied Nail Techniques		教員名	ネイルチーム	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	2単位
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	60時間
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	◎	○	◎
科目の概要	基礎ネイルで習得した技術をベースとしてソークオフジェルの技法を学ぶ。エステティックの国際ライセンスの取得につながるフットケアの技法を習得する。関連科目として接・客接遇法、色彩学、トータル的な美を追求するためにヘアメイクアップを学ぶことが望ましい。				
授業の目標	ネイルの器具、用具を正しく扱うことができ、技術理論に基づいた作業ができる。 年齢を問わず、お客様に合わせたネイル技術を提供できる。 爪を健やかに保つために、加齢による爪の病気などを見極め、お客さまに適切なアドバイスを行うことができる。薬剤の役割とその使用法、及び適切な手順を覚え、爪を修復することができる。				
時間外学習 (予習・復習)	ネイルの資格取得にあたり、授業以外においても各自で反復練習を行うこと。技術においては1回につき60分～90分程度の復習を行なうことが望ましい。				
教科書・教材	教科書				
	教材	配布教材は別紙参照 * 授業初回で配布します			
	使用設備・備品	美容実習室・水道			
	参考文献	新エステティック学 技術編Ⅱ 第2版			
評価方法	授業内の参加意欲、ネイルに関するコンテストへの参加や受賞は評価に反映します。 筆記試験内容は、主に授業で配付するテキストより出題し、実技試験は授業内での作品制作を含めて評価します。 授業態度等20% (* コンテスト等の参加、受賞を含む)、筆記40%・実技試験40%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	授業の実習について開講期間中はナチュラルネイルとし、カラーリング、人工爪などは全て除去してください。授業内で迷惑行為にあたる言動は慎むこと。CIDESCO-NIPPON Beauty Therapy Diploma を取得したい場合は受講すること。 * 基礎ネイル技術単位取得が履修条件です。				
本科目履修と関連する資格	資格名	・ネイリスト技能検定試験 2級、 CIDESCO-NIPPON Beauty Therapy Diploma			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション 道具、器具の説明 テーブルセッティング	道具、器具の扱い方、マニキュア 化粧品の成分を知りし、ネイルサ ロンと同様の衛生措置を行うこと ができる。	
第2回	ネイルケア・カラーリング（タイ ム計測） チップラップを自分の爪で練習す る	前期で習得したネイルケアの技術 を相手に施術することができる。 チップラップの道具を正しく扱う ことができる	復習として、チップラップの手順を 覚える。
第3回	チップラップを相モデルで練習す る	チップラップ材料を正しく使用し て、相手に施術することができる。	
第4回	シェラック① ハイブリッドネイルケアシステム を学ぶ	材料の特長、使用方法を述べるこ とができる。	次週までにアートのデザインを考え てくる
第5回	シェラック② 自分の爪で練習する	アート用の素材を使用しデザイン することができる。	検定受験者グループはタイム計測を 実施する
第6回	シェラック③作品制作	バランスを考えてネイルチップに デザインすることができる。	次週のアートのデッサンを考えてく る。その他、必要に応じて装飾品を 持参する。
第7回	ハロウィンアート制作 テーマのデザインを考える	色彩と共にテーマに沿ったアート を描くことができる。	検定受験者グループはタイム計測を 実施する
第8回	ハロウィンアート制作 ネイルチップにアートを描く	装飾品を使用して作品を作ること ができる。	検定受験者グループはタイム計測を 実施する
第9回	フットケア① デモンストレーション 足の爪の病気について学ぶ	フットケアの必要性と使用する器 具用具の役割を述べることのでき る。	
第10回	フットケア② 器具用具の扱い方	フットケア技術を手順どおりに施 術することができる。	復習としてフットケアの実技手順を 覚える（60分）
第11回	フットケア③ 実践 ・フットネイルケア	フットケアの手順にそって、時間 を意識して施術することができる。	
第12回	フットケア④ 実践 ・フットネイルケア～マッ サージ	足の状態を見極めて、施術するこ とができる。	実際にモデルの足の状態を見極めカ ウンセリングの練習を行なう（60分 から90分）
第13回	スカルプチュアネイル① 理論 筆の扱い方 フォームの装着	人工爪の理論、製品の特長を活か して技術を行うことができる。	
第14回	スカルプチュアネイル② 材料の特長と技法を学ぶ	人工爪の技法を考えて、自分の爪 に行うことができる。	
第15回	スカルプチュアネイル③実技	全ての技術工程において手順どお りに施術することができる。	モノマーとポリマーの適正な量を取 ることが出来るように反復練習する （60分程度）*要換気

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	スカルプチュアネイル④ 材料の特長と技法を学ぶ	全ての技術工程においての時間を意識して施術することができる。	
第17回	チップオーバーレイ① ハンドモデルで実技を行う	技術の理論と製品の特長を述べる ことができる。	
第18回	チップオーバーレイ② 自爪に装着する	正しく製品を扱い、自分の爪に施 術することができる。	
第19回	3D、エンボスアート① ハンドモデルで実技を行う	材料を正しく扱って、技術を行う ことができる。	
第20回	3D、エンボスアート② アート制作の練習	アクリル素材を使用して立体的に アートを表現することが出来る。 テーマを考えて作ることができ る。	次週のアートのデッサンを考えてく る。その他、必要に応じて装飾品を 持参する。
第21回	「クリスマス」又は「和」をテー マにした作品制作① ・デッサン	色彩と共にテーマに沿ったアート を描くことができる。	
第22回	「クリスマス」又は「和」をテー マにした作品制作② ・ネイル チップに製作	装飾品を使用して作品を作ること ができる	アート作品の提出
第23回	ジェルスカルプチュア① ハンドモデルで実技を行う	材料の理論と使用方法に基づい て、施術することができる。	エステの実習やメイクアップ等の授 業に支障の無いように、人工爪は授 業内で除去する。
第24回	ジェルスカルプチュア② 自爪に装着する	相モデルで実践し、手順どおりに 施術することができる	
第25回	人工爪とアート① ハンドモデルで実技を行う	スカルプチュアネイルとエンボス アートをこなうことができる。	
第26回	人工爪とアート② 技術の復習	スカルプチュアネイルとエンボス アートを時間内に行なうことが できる。	作成したアートは、各自データとし て保存する
第27回	ネイル技術のまとめ① ・デッサンを考える	チップラップ・スカルプチュア・ 3Dを取り入れ独創的なネイル アートの作品を制作することが できる。	
第28回	ネイル技術のまとめ② 技術 ・3Dアート制作	チップラップ・スカルプチュア・ 3Dを取り入れ独創的なネイルア ートの作品を制作することが できる。	これまで学習した理論内容を説明 できるように覚える。
第29回	ソークオフジェル① ハンドモデルで実技を行う	正しい手順に沿って、時間を意識 して施術することができる。	
第30回	ソークオフジェル② 自爪に装着する	時間を意識して施術することが できる。	